

工事設計基準 -電気・機械設備編-（岡山県企業局）における 週休２日の積算方法について

○労務費

- ・ 労務単価(夜間、時間外等の補正後)【円未満切捨】
= 労務単価×夜間及び時間外等による補正係数
- ・ 労務単価(週休２日の補正後)【円未満切捨】
= 労務単価(夜間、時間外等の補正後)×週休２日補正係数

○共通仮設費率

◇準備費 率計算によるもの(S_1)

- ・ 補正前【千円未満切捨】
準備費(S_1)= 準備費対象額(P)× $0.00\%+00$ (定額部)
- ・ 週休２日の補正後【千円未満切捨】
準備費(S_1)=(準備費対象額(P)× $0.00\%+00$ (定額部))×週休２日補正係数

◇技術管理費 率計算によるもの(T_1)

- ・ 補正前【千円未満切捨】
技術管理費(T_1)= 技術管理費対象額(P)×技術管理費率
又は技術管理費(T_1)= 限度額
- ・ 週休２日の補正後【千円未満切捨】
技術管理費(T_1)= 技術管理費対象額(P)×技術管理費率×週休２日補正係数
又は技術管理費(T_1)= 限度額×週休２日補正係数

◇労務者輸送費(V)

- ・ 補正前【千円未満切捨】
労務者輸送費(V)= 労務者輸送費対象額(P)×労務者輸送費率
又は労務者輸送費(V)= 限度額
- ・ 週休２日の補正後【千円未満切捨】
労務者輸送費(V)= 労務者輸送費対象額(P)×労務者輸送費率×週休２日補正係数
又は労務者輸送費(V)= 限度額×週休２日補正係数

◇営繕損料(Y)

- ・ 補正前【千円未満切捨】
営繕損料(Y)= 営繕損料対象額(P)×営繕損料率
又は営繕損料(Y)= 限度額
- ・ 週休２日の補正後【千円未満切捨】
営繕損料(Y)= 営繕損料対象額(P)×営繕損料率×週休２日補正係数
又は営繕損料(Y)= 限度額×週休２日補正係数

◇安全費 率計算によるもの(W₁)

- ・補正前【千円未満切捨】

$$\text{安全費}(W_1) = \text{安全費対象額}(P) \times \text{安全費率}$$

$$\text{又は安全費}(W_1) = \text{限度額}$$

- ・週休2日の補正後【千円未満切捨】

$$\text{安全費}(W_1) = \text{安全費対象額}(P) \times \text{安全費率} \times \text{週休2日補正係数}$$

$$\text{又は安全費}(W_1) = \text{限度額} \times \text{週休2日補正係数}$$

○現場管理費率

- ・補正前【千円未満切捨】

$$\text{現場管理費} = \text{現場管理費対象額}(P) \times \text{現場管理費率}$$

$$\text{又は現場管理費} = \text{限度額}$$

- ・週休2日の補正後【千円未満切捨】

$$\text{現場管理費} = \text{現場管理費対象額}(P) \times \text{現場管理費率} \times \text{週休2日補正係数}$$

$$\text{又は現場管理費} = \text{限度額} \times \text{週休2日補正係数}$$

○市場単価・標準単価

- ・市場単価・標準単価(週休2日の補正後)【円未満切捨】

$$= \text{市場単価・標準単価(基準額)} \times \text{週休2日補正係数}$$

- ・市場単価・標準単価(施工規模等の補正後)【円未満切捨】

$$= \text{市場単価・標準単価(週休2日の補正後)} \times \text{施工規模等の補正係数}$$

※市場単価・標準単価は、週休2日の補正【円未満切捨】→施工規模等の補正【円未満切捨】の順に補正する。

○週休2日補正係数は土木部技術管理課ページ掲載の「週休2日工事の補正係数について（「土木工事標準積算基準」「機械設備積算基準」）」の場合と同様